



未来をつなぐ

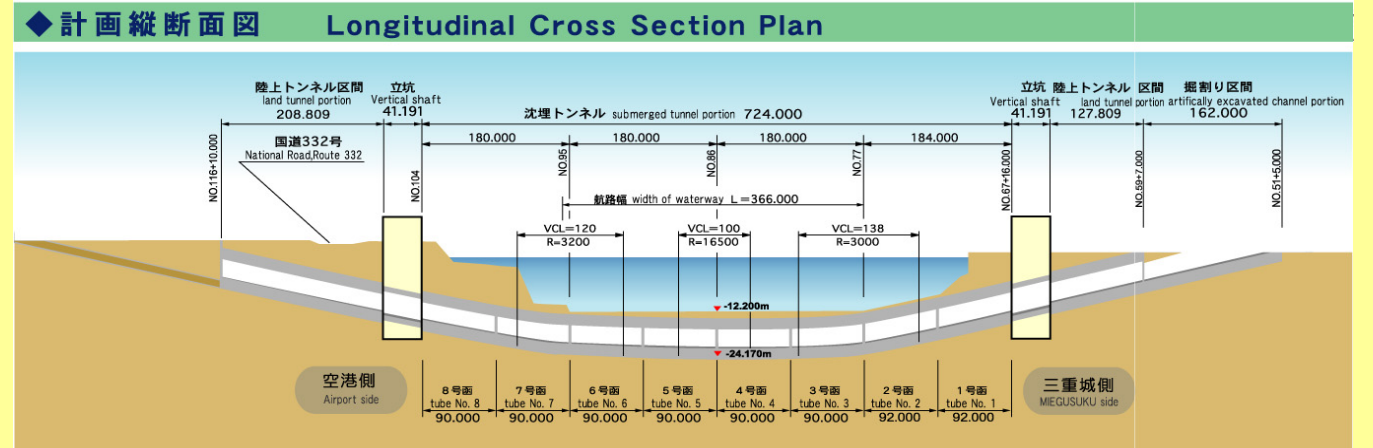
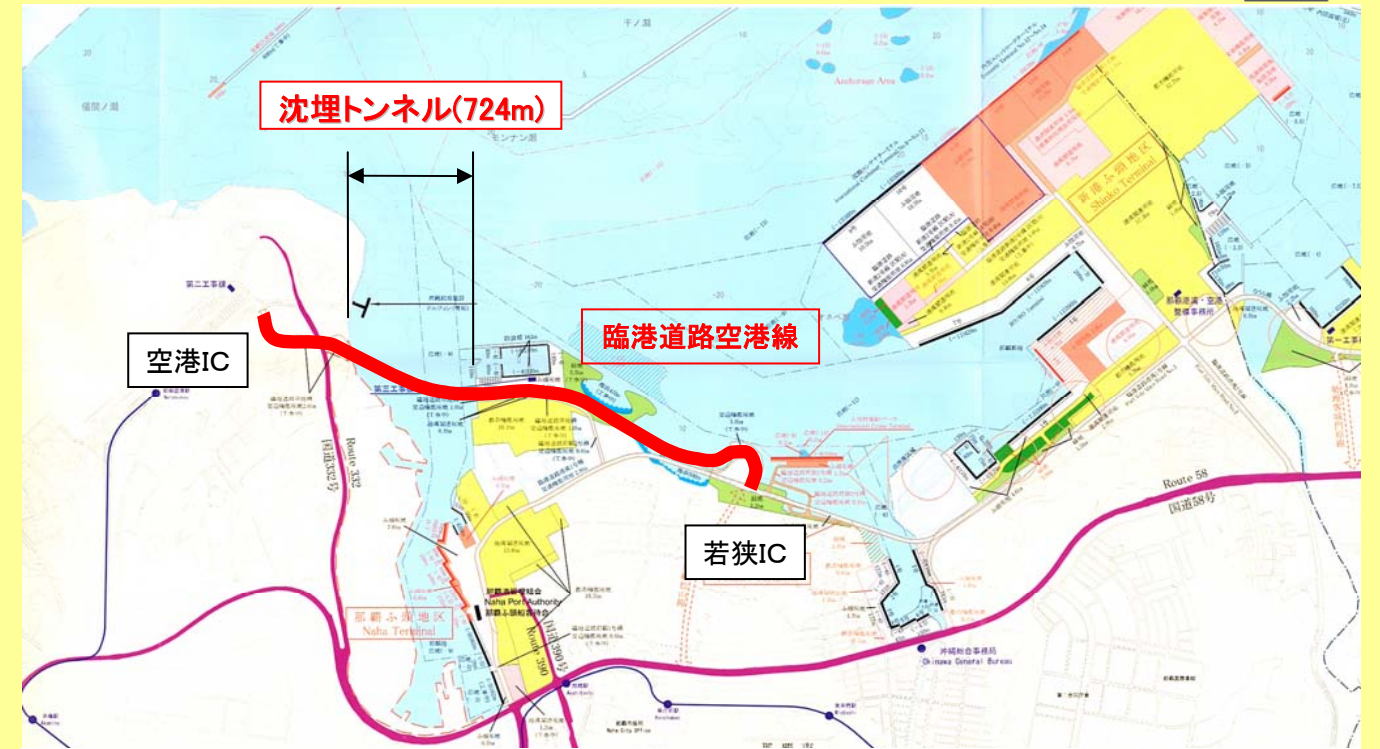
那覇沈埋トンネル



沈埋トンネルは那覇港の海底にあるって本当？



臨港道路空港線は、空港と若狭を結ぶ3 kmの自動車専用道路で、那覇心頭地区（那覇水路）を横断するところが海底を通る長さ724mの沈埋トンネルです。この道路は、那覇港と那覇空港や本島南部との輸送の強化と那覇港背後の幹線道路の慢性的な交通渋滞を和らげることを目的としています。



- ・ルート : 若狭IC～那覇水路～空港IC
- ・延長 : 3.0km (沈埋トンネル部：724m)
- ・道路規格 : 3種1級
- ・計画交通量 : 53,600台/日
- ・車線数 : 6車線 (片側3車線)
- ・設計速度 : 80km/h



トンネル探検へ GO♪♪♪



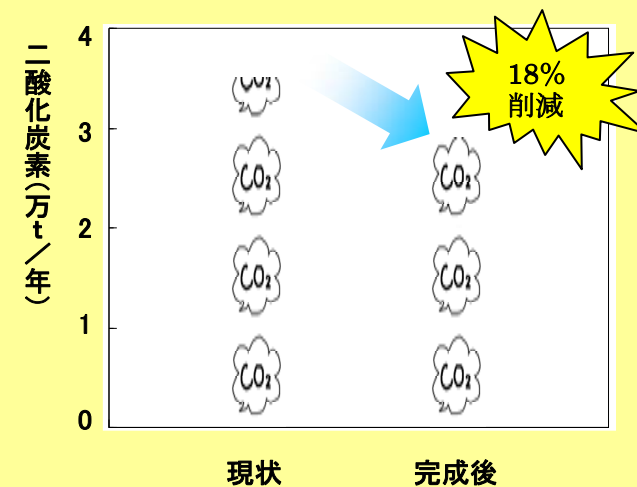
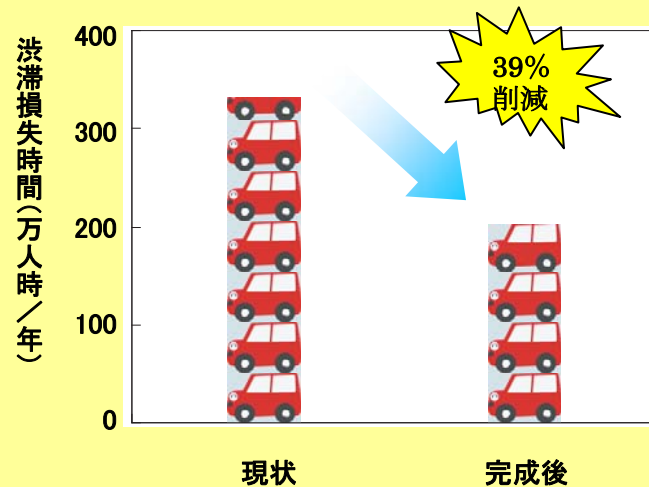
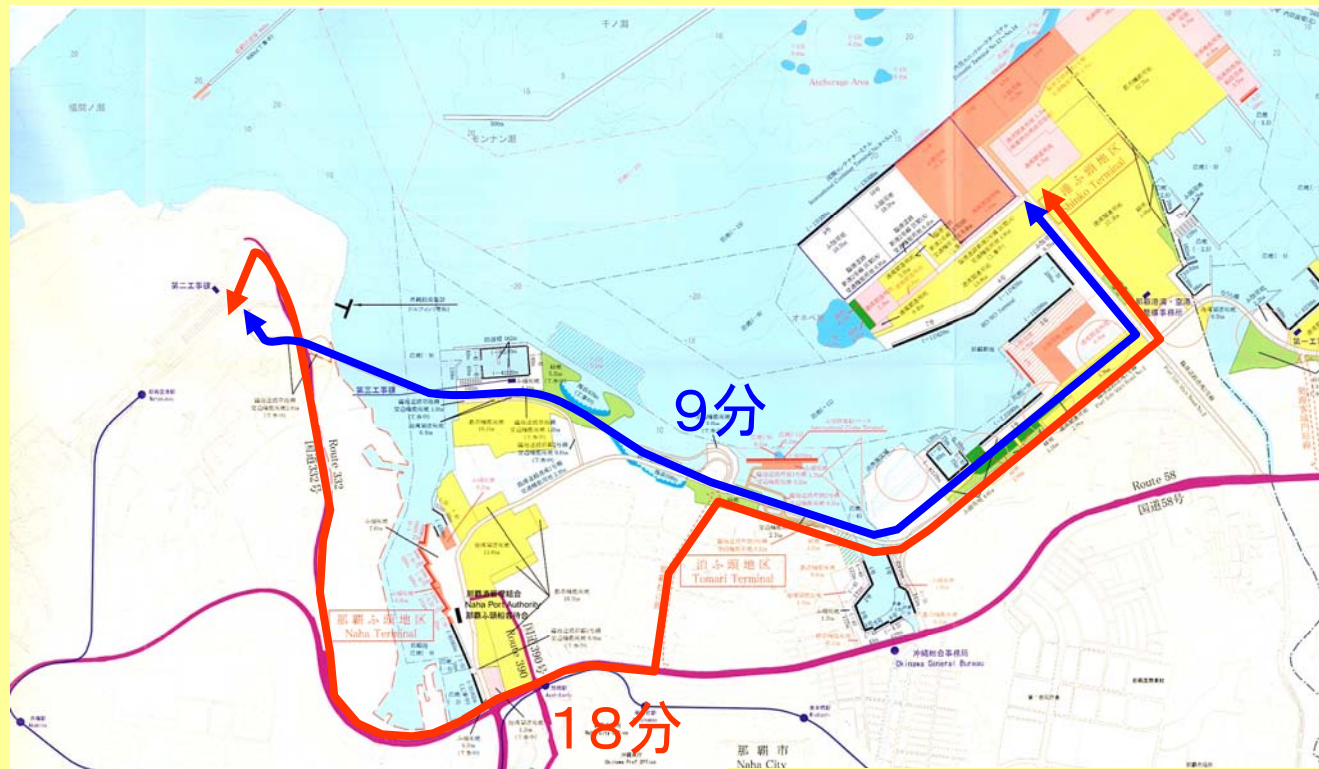


沈埋トンネルはどのように建設するか知っている？



沈埋トンネルの整備によって、那覇港（新港ふ頭）から那覇空港までの所要時間は、現在の18分から9分に大幅に短縮され、年々増加している那覇港の取扱貨物が円滑に輸送されることとなります。

また、先月、那覇空港に新国際貨物ターミナルがオープンしましたが、今後、港と空港との連絡が改善することは、これまであまり見られなかった海上貨物と航空貨物の連携が進むこととなり、沖縄経済の新たな発展が期待できます。



沈埋トンネルと並行して走る国道58号、331号の渋滞が4割程度緩和されるとともに、二酸化炭素の排出量は約2割少なくすることができます。



陸上でトンネル本体の構造物（沈埋函と呼ばれる）を製作し、海底に沈めてトンネルとする工法を沈埋トンネルと呼んでいます。

那覇港の沈埋トンネルは、長さ90m、幅37m、高さ8.7m、重量27,000トンの沈埋函を全部で8函、海底に沈め接続しています。



【沈埋トンネル豆知識】

日本には、道路として利用している沈埋トンネルは17例（建設中2例）あります。最も古い建設例は、安治川河底トンネル（大阪市）で昭和19年に完成し、現在でも人道トンネルとして利用されています。



もっと知りたい人はこちら →

沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所
〒900-0001 那覇市港町2-6-11
TEL 098(867)3710
FAX 098(860)1389
<http://www.dc.ogb.go.jp/nahakou/>

